

「がむしゃら」に走り続けた
2021年

1月…元旦!朝の街頭からスタート

- ▶コロナ対策部署新設!
- ▶知事へ新年度予算に関する要望活動



2月…臨時議会 柿本の質疑・提言

- ▶80万人のPCR検査の効果・必要性
- ▶事業者への支援 など



2月定例議会 一般質問で知事に提言

- ▶コロナ対応される医療従事者への心のケア
- ▶「災害死ゼロ」の実現性
- ▶安芸高校の再編・整備、ICT教育の推進
- ▶自ら命を絶つ方を減らす取り組み
- ▶持続可能な交通サービスの実現 など



3月…がむしゃら通信No.8 発行

- ▶県の新規事業、ワクチン接種の流れ、災害復旧状況
- ▶県政に対するアンケートを実施
- ▶「政治とカネ」政治倫理審査会を設置



5月…臨時議会 柿本の質疑・提言

- ▶コロナ禍の生活困窮者への対応
- ▶ワクチン接種における県の支援
- ▶飲食店などへ分かりやすい支援情報の発信など
- ▶広島市ワクチン接種スケジュール発表



6月…臨時議会・6月定例議会 柿本の質疑・提言

- ▶ワクチン接種しやすい環境整備
- ▶女性の困窮(生理用品の配布)など
- ▶ワクチン担当課の新設

7月…がむしゃら通信No.9 発行

- ▶コロナ関係、子育て支援情報などを掲載
- ▶生活福祉保健委員から新たに文教員会へ所属



9月…9月定例議会 柿本の質疑・提言

- ▶コロナ禍による児童、子どもへの影響、自殺
- ▶ICT機器の適正管理、いじめの陰湿化など
- ▶政治倫理審査会の最終報告 県議13名に「文書警告」

11月…がむしゃら通信No.10 発行

- ▶コロナ禍で影響を受けている子ども達の「声」を掲載



12月…12月定例議会 一般質問で知事に提言

- ▶介護人材の確保・育成
- ▶組織横断的な防災・減災の取り組み
- ▶公共交通の維持など

※詳細は内面へ

- ▶所属する会派(民主県政会)で、来年度予算編成に向け知事、国会へ要望活動



2021

1

2

3

4

5

6

7

8

9

2021

10

11

2022

春 ~協力の支援内容など多数の相談を受ける~

飲食店に対する各協力支援金の制度内容、申請方法などの相談対応
飲食店以外の事業者への支援要望。
県民へのPCR検査拡充に対する意見
ワクチン接種の情報などについて相談を受け、改善要望。



夏 ~7・8月豪雨対応~

連日の大雨による、被災状況の確認、地域の方からの要望事項を多数伺い、行政へ働きかけました。



地域の方、行政と現地調査



避難所へ状況確認

大学生と一緒に活動

2名のインターン生を受入れ、コロナで影響を受けている公共交通・児童施設を訪問、被災現場を視察するなど「生活と政治」の繋がりを感じてもらう機会に!
コロナ禍の学校生活、学生の考え方も知ることができ、勉強になりました。



宮島フェリーを訪問

週末はひたすら街頭へ

コロナ対策を訴える!

広島県のコロナ対応やワクチン接種、事業者支援情報など、区内をまわり訴えました。街頭でも貴重なご意見を沢山いただきました。



秋 ~様々な課題・地域要望の調査~

介護福祉士から介護現場の実態、山積されている諸課題、魅力ある介護職へ向けた改善点や、政策提言など沢山のことを勉強!

また、県立安芸高校の廃校に伴いPTA、「アキサボ」など様々な活動で在校生の支援していることを教えていただきました。



皆さまの「声」を県政に! 地域のお困りごとなど、お気軽にご相談下さい

KAKKI GAMUSHARA TSUSHIN

広島県議会議員 <東区>

かきもと 忠則

ただのり

かき~がむしゃら通信 Vol.11

12月定例議会

一般質問3度目の登壇! 知事へ提言!!

昨年コロナ禍により私たちの生活は様々な制限がされた一年でした。12月議会では、コロナ第6波に備えた体制整備、オミクロン株による3度目のワクチン接種への対応やワクチン接種したくても様々な理由で接種できない方へのワクチン・検査パッケージ(PCR検査・抗原検査)体制などが議論されました。私もコロナへの感染やワクチン接種の有無等により差別的なことに繋がらないよう提言してきました。私もコロナへの感染やワクチン接種が密接な関係であるという痛感を感じました。コロナ禍で、大変な時だからこそ「我々の生活と政治」が密接な関係であるという痛感を感じました。引き続き、皆さまの「声」を議会に届けていけるよう、がむしゃらに活動してまいります。

オミクロン株の流行、コロナ第6波への備え
県でも医療体制、ワクチン・検査パッケージの検査体制を進める
鳥インフルエンザ発生による緊急対応

12月補正予算 約416億円8千万円(一般会計)が可決

- コロナ感染対策・医療体制整備 約259億9千万円
患者搬送体制、健康観察フォローアップ、PCR検査強化、ワクチン接種体制、病床、宿泊療養施設の確保など
- 豪雨災害復旧・復興関連(平成30年、令和3年) 約150億5千万円
- その他 意見書
鳥インフルエンザ対策など 海洋プラスチックごみ対策の強化を求める意見書

ワクチン・検査パッケージとは

飲食店やイベント主催者等が、入店者・入場者等の「ワクチン接種歴」又は「陰性の検査結果」のいずれかを確認することにより、リスクを低減させ、緊急事態宣言などにおいて適応される行動制限を緩和するものです。
抗原検査がPCRセンターに加え、薬局でも可能になりました。

	県・委託		県・補助・委託
	PCRセンター	抗体定性検査	県内薬局・抗原検査会場
PCR	その場で唾液採取	説明を受け、抗原検査	説明を受け、抗原検査
結果判明(翌々日までに)		15~30分後、結果判明	15~30分後、結果判明
陽性	電話連絡 → 医療機関・ホテル等により療養	PCR検査	病院受診 → PCR検査
陰性	検査結果通知発行(検体採取日より3日以内有効)	検査結果通知発行(検体採取日より1日以内有効)	検査結果通知発行(検体採取日より1日以内有効)

かきもと ただのり
柿本忠則
プロフィール

1982年3月23日 尾道生まれ
2000年 私立如水館高等学校卒業
2000年 JR西日本入社
駅務車掌、新幹線運転士など経験
2019年 広島県議会議員(東区)初当選

【委員会】
文教委員会
県土強靱化・危機管理強化対策特別委員会

【地域とのつながり】
温品学区社会福祉協議会理事
温品小学校PTA会長(5期目)
温品おやじ苦楽部
地区防災士・消防団
東区剣道連盟顧問
東区薬好会ビーチボールバレー顧問
その他クラブチーム(青少年)の顧問

【その他】
如水館高校OB会広島地区副会長

広島県議会議員 かきもと忠則事務所
〒732-0033 広島市東区温品 5-2-18
電話/FAX: 082-554-8323
メールアドレス: t.kakimoto2122@gmail.com
携帯: 090-7500-0534

お気軽にお越し下さい

1 介護人材の確保・育成について

介護人材の早期離職の抑制について

Q 介護職員の離職者のうち3年未満職員の割合を2025年に50%にする目標を掲げているが、早期離職を抑制するためにどのように取り組むのか。

A (健康福祉局長) 働きやすい職場づくりに取り組む法人を優良法人として認証する制度の普及促進や、職場環境の課題を認識し改善につなげる「自己点検ツール」の活用促進により、優良法人の離職率が低下するなど、一定の効果が現れている。介護職員の負担軽減は、見守りセンサーなどの導入支援や管理者等を対象とした機器の活用方法やセミナーなどを実施している。このほか、新人職員による合同入職式や研修会を開催、機会を通じて、悩みを共有し、励まし合える関係づくりを進めている。



福祉・介護職場の魅力向上について

Q 「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま」認証数の累計を2025年に950法人とする目標を掲げているが、制度をさらに充実させ、施設にも、介護職を目指す人、利用者にも、「三方よし」なものにすることが重要と考える。介護職場の魅力向上に向けた今後の取組について。

A (知事) 認定法人に限定した就職合同説明会の開催などで就職を後押し、認定取得にメリットを感じる取組を行っている。今後は、当該法人で働いている職員もメリットを感じられるよう雇用管理の改善、職員の能力開発、社会保険労務士の派遣など、よりよい職場環境づくりを進める。また、認定法人との交流会、小規模法人では連携推進法人制度の活用、法人の大規模化・協働化の促進など、業界全体のイメージアップも回り選ばれる業界となることで人材の確保・定着につなげる。



✔ この他、虐待や不適切な介護サービスにならないよう介護サービスや職員の質の向上

✔ 学校における福祉・介護の授業の充実など質疑

柿本が質疑する!



昨年、私の父が他界しました。両親は離婚しており、父は認知症になり施設に入った90代の母と、ハンデキャップをもった弟の面倒をみており、今後は、母も弟も地域包括ケアや介護施設の支援や協力がなければ生活が難しいのではないかとという現実。昨今「介護疲れ」や「老老介護」による悲惨な事件も発生しており、住み慣れた場所で安心して暮らしている方がどのくらいいるのか? 将来に不安を抱えて窮屈に生活している日本の実態を踏まえ、「介護」について取り上げました!!

3 安芸高校及び呉昭和高校の現状と取組支援について

安芸高サポーターズクラブに対する支援と連携

Q 県教育委員会としてアキサポの活動をどのように認識しているのか、また、生徒を最後まで応援しようとするアキサポの活動は安芸高校の教育活動に大いに資するものとするが、今後取り得る支援や連携について。

A (教育長) 安芸高サポーターズクラブは「幸せな閉校プロジェクト」として創立50周年記念行事の開催や記念誌の作成、講演会に社会人講師として参加いただくなど、安芸高等学校に在籍する生徒が充実した学校生活を送るために貢献いただいている。学校と一層連携を回りながら、行事などが円滑に実施できるよう、必要な支援を行っていく。



安芸高校に「オオクボックス」が来校!

12月20日、PTAが主催して安芸高校に広島FMのラジオDJ「大窪シゲキ」さんをお迎えした講演会が実施されました。メッセージは数週間前から学校内に目安箱を設置しての自由投函。当日は、体育館へ全校生が集まり投函された高校生らしい思春期のお悩み相談などを生徒会のメンバーと一緒に紹介しアドバイス。安芸高校は、2023年度末に閉校が決定していますが、子ども達に前向きなメッセージを沢山発信していただきました。子どもたちが胸をはって卒業し、母校でよかったと思えるよう幸せな閉校プロジェクト「アキサポ」の活動を私も微力ながらご支援させていただけたらと思っています。準備・企画いただいた関係者の皆さん、おつかれ様でした。



2 組織横断的な防災・減災の取組について

Q 防災・減災の取組は危機管理監が主体となり組織横断的に推進するよう提言してきた。受講者側から見て活用しやすい防災教育の出前講座のメニュー化、広報活動など情報発信の一元化に関する今後の進め方と広島型避難行動推進プロジェクトチームの役割について。



A (知事) 2020年4月に関係部局でつくるプロジェクト・チームを設置し、様々な取組について課題解決に向けた組織横断的な調整を実施している。一方で、出前講座の募集では、複数の部署から別々に案内を行っており、一部の学校現場で混乱が生じたこともあった。R4年度以降の募集は、一元化し学校現場の多様なニーズに応えられる講座メニューを検討している。

4 広島高速5号線のシールドトンネル工事について

Q 10月25日から着手された約350mの住宅地直下の区間の掘削においてシールドマシンの臨時点検が生じた事実を踏まえ、地表面の沈下に対して公社が適切に施工管理をしつつ、住民が希望する安心・安全な工事を完遂するため、どのように掘削を進めていくのか。



A (土木建築局長) これまでの実績を踏まえ、3回の計画的なカッター交換時には、泥水を抜くため地下水位が低下し、地表面沈下が生じる可能性があることから、止水対策工を実施することとしている。臨時点検では、掘削面の直上に計測点を追加し、地表面の変位や掘削面からの湧水量等を確認したが、止水対策工の必要はなかった。なお、点検期間中に計測した地表面沈下は最大で0.1ミリメートルであった。このたびの臨時点検の発生を踏まえ、異常を検知するセンサーの不具合の改善など、対策を行った上で掘削を再開した。引き続き、住民の皆様への安全・安心の確保を第一に、慎重に工事を進めていく。

5 公共交通の維持について

鉄道事業者への支援に関する考え方と国への働きかけについて

Q 県だけでは対応できない課題とも認識しているが、「地域公共交通感染拡大防止対策支援金交付要綱」作成に当たっての県としての考え方、公共交通(鉄道)に対してさらなる支援に向けた国への働きかけについて。



A (知事) 公共交通の利用者数は、外出自粛要請の解除後もコロナ前までの水準に戻っておらず、公共交通事業者の経営状況は厳しいと認識しており、県内の地域公共交通ネットワークの維持・確保に取り組んできた。JR西日本は、本県のみならず、広範囲にわたる区域を営業エリアとしており、自治体単独ではなく国の責任において行うべきものと考えている。国への施策提案についても、知事から直接、国交大臣へ鉄道事業者の経営基盤の安定化への支援を要望している。

- ✔ この他鉄道用地外からの災害に対する事前防災・早期復旧の取り組み
- ✔ 鉄道沿線の活性化及び駅を拠点としたまちづくりなど質疑

新型コロナ対応での「私の反省」

- 支援が後手になったり、分かりにくい制度などの改善、受け手に分かりやすい情報発信がもっとできたのではないかな。
- LINE、Facebook、インスタ、街頭などで支援情報などを発信したか、もっと多くの方の声を聞く方法や努力ができたのではないかな。
- 学校の休業、スポーツ関係、行事などの制限は、子ども達にとって大切な居場所であり、活躍の場であったことにあらためて、気づかされた。
- コロナ禍において、私自身の議員活動で何をしていたか伝わらなかったのではないかな。活動や考え方の見える化がもっとできたのではないかな?